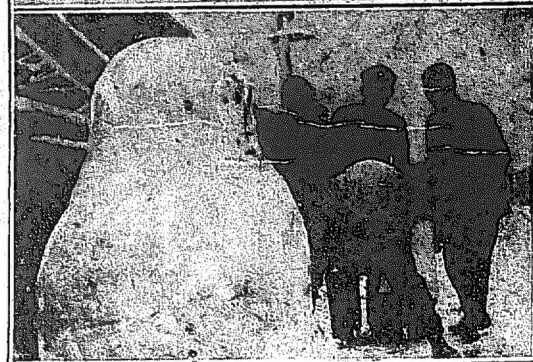
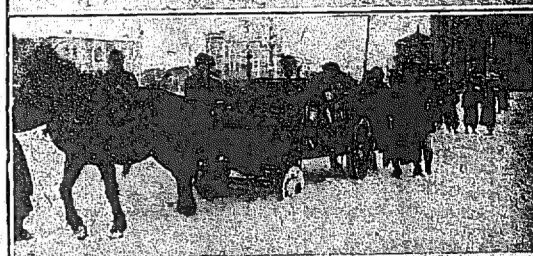
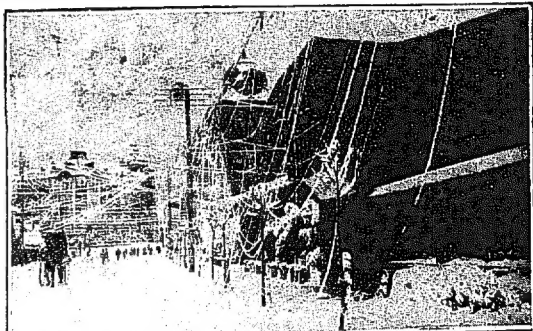


雪の京城

(上)公會堂の屋上から瞰下した全市の雪景 (二)長谷町 (三)大門前駅の立寄車



全市六花に埋もる

通信交通機関悉く杜絶す
懸念されるは電線の復旧工事
全鮮に亘る稀有の大降雪?

坪當り四斗八升

氣温は例年より温かい
京城測候所の観測
五度六分、一時間平均にして

通信交通の打撃

電信電話線の切斷
電車の運轉不能
今晩の電燈は大丈夫?

電線の被害

工務課
眼を廻す
電線路の調査

弱り目に祟り目

年末多忙の時に際し
市内電話線の全滅
復舊期は見當がつかぬ

忘れ物

龍山方面も大弱り
京龍間の電車杜絶
聯隊では壯烈な雪合戦

救護班巡回

成瀬良好
救護班巡回

商業登記公告

拾得金公告
外金拾壹圓也

京龍本町警察署

小切手紛失廣告
京龍本町警察署

京日案内

京日案内
京龍本町警察署

靴ムゴ總

靴ムゴ總
京龍本町警察署

中島釜山支店

中島釜山支店
京龍本町警察署

米商會

米商會
京龍本町警察署

米商會

米商會
京龍本町警察署

米商會

米商會
京龍本町警察署

米商會

米商會
京龍本町警察署

禪堂生活

人間の改造

役位
禪堂生活は、人間の改造を目的とする。それは、人間の心を静かにし、その本性を顕現させることである。...

特産物現況

銀行の警戒
と一般手控
特産物の現況は、銀行の警戒と一般の手控えによって、多少の制限を受ける。...

木魚止んだら

木魚止んだら、静かになる。それは、心の静けさを表す。...

混合保管

混合保管は、物の性質を考慮して行われる。それは、物の価値を高める。...

酒を飲め

酒を飲め、心を開放せよ。それは、人間の本性を表現する。...

好取組(大田) 好取組は、人間の心を鍛える。それは、人間の能力を高める。...

仁川の餅揚

仁川の餅揚は、地域の伝統文化である。それは、地域の歴史を伝える。...

減切

減切は、物の量を減らすこと。それは、物の価値を高める。...

猛獣狩り

猛獣狩りは、人間の勇気を試す。それは、人間の能力を高める。...

支那の主権

支那の主権は、国際法に基づいて認められる。それは、支那の領土を保護する。...

商業登記公告 商業登記は、企業の活動を公にする。それは、企業の信用を高める。...

大阪屋敷

大阪屋敷は、大阪の歴史を伝える。それは、大阪の文化を伝える。...

最新刊

最新刊は、最新の情報を提供する。それは、最新の知識を伝える。...

日本南緯

日本南緯は、日本の地理を伝える。それは、日本の文化を伝える。...

婦人子供の権利

婦人子供の権利は、法律で保護される。それは、婦人子供の生活を保障する。...

群山 矢野

新築落成と共に 鶴屋と改名 致しました

新築落成と共に、鶴屋と改名致しました。...

山鶴洋品部

景品大賣出 品用答贈・品備準月正

景品大賣出、品用答贈・品備準月正。...

純白美乳

性眼覚の頃... 若き美を發揮する

性眼覚の頃... 若き美を發揮する。...

大坂屋敷

大阪屋敷は、大阪の歴史を伝える。...

市来商店

市来商店は、市来品の販売店。...

集募生學

京畿道京城自動車講習所

京畿道京城自動車講習所。...

東京竹内製ベント金庫

竹内金庫 活歴史を有する 研究せられたる

竹内金庫、活歴史を有する、研究せられたる。...

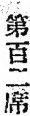
新出料理

新出料理は、最新の料理。...

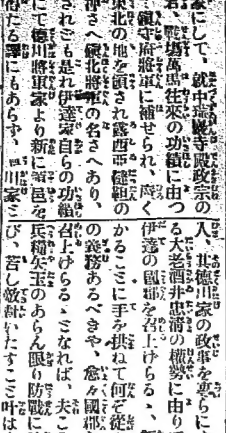
京城精米組合

京城精米組合は、精米の生産者。...

小金井 芳洲講演



御老體のお養葉までもなく抑々天下の政權を委任せられたるの御家は山影中納言やまかげのなごん以來の名



石川殿のお言葉かな、名々の愚直に伊達のために盡したる
朝武誠識に満足に存じよと、萬
一實に隙に陥りたる余儀なり
御家々に御誓ひあらんぞとの
合には清岡又は藁之助に申付け
夜を日に次いで過すく國表に住
進の手続きを取りまはし其時
こそ今午の御會席あつて然れば
く、イヤ、一體さういふ宴合にお
ける國表の軍師は片倉小十郎卿
がお勤め下されたく、總大將は石
川殿に懇願するべくも存せらる。
喚 イヤ、之は恐れ入つた安藝
勝頼様か。然しこゝは若年者
して不才不敏、總大將なることば
思ひもよらず」此時に諸人異口
同聲に「イヤ、夫れやや御座連
御無用でござる、石川氏、安藝
殿の仰せられたる通り御勇躍に
申し、お志願さす、總大將に
石川殿然らざるべきごころ」爰
に衆のゴロ波打たましました

「愚直に伊達のために盡したる
岩なきを申しよとそりや大
層な宏説でございます、却て評
議一決をいたして皆トク／＼ミ
世政をする、伊達安藝は取に
けり歸りまして、愈々兵部少輔原
田甲斐の唯今までの精意の腐條
二七變云々ふとの、安藝に閉
籠つて認知初めた、安藝云々
人は却くの織文家、當時伊達家
でも有符でありました、其人が
歟金を焚き熱血を注ぎて橋を断
した文章ですから、讀いて鬼神
を動かすに足つた位でございます
と、前後の外に語らないでいま
スツバリ諦めて舊敵の家來寛
平求女、伊賀忠四郎の人を選
抜をして、懸念の中含め、願書
を待たして、江戸表に出府をし
る、二人は江戸表に出府を致し
ましたが芝刈の上層殿等に郡
々船廠で足踏みは出来ぬ、市

は城を手に列したすまての
○「倭寇にきこすの候、ふべき
モヤ、御座の方にも、これに
御異存はござまい。如何で則
座らうと申、然れどもし述べた
一席用い候もの一言に勇気を引
立ててさう。〇實に角田殿の仰
せを讀み大も其節は死
を以て進だ國に報いんのん」
病癒すまでござらう。御老師
如何と云ふ。安宿や御座んな
ご憂ひはなし。要を先達と一體
なをし、未代で芳名を残し給へ
るをな。〇仰せまでもな
吾輩最々心定まりませう。町
さるゝ位。全く濟済一息を
出射をしたか。安條の板敷内書
に附へ一命をささきのとして御
訴へするさ。が来ました。
一枚には板敷を草草一葉の簡の

招得（たうとく）、（さうじやう）せり
 艱（がひ）難（なん）の招安（しやうあん）大田一
 に今聞（いまきこ）安（やす）したる科（か）位（ゐ）は
 十六日（じふろくにち）三日間（さんぴつかん）
 有志（ゆうし）を招得（たうとく）し聞（きこ）披露（ひやくし）の宴（えん）
 りたり
 天野軒所出（てんのかのしゅしゅつ）群出（ぐんしゅつ）前昨（ぜんそく）
 天野軒之助氏（てんのかのすけのぢい）二四日（にじゅうよっぴち）
 時（とき）計（けい）利（り）小計（せうけい）十兩（じゅうらう）有餘（ゆうご）
 頗（なほ）便利（べんり）経済（けいぎ）的（てき）な

[illegible][illegible]

本邦人の整容美髪

洗滌に石鹸を使用
くはあつたをへしおきて石鹸
皮膚毛髪の整美容の目的に達す



(一) ミツワ石鹸は特に本邦人にして、其整齊・適すべく複製せらるものなれば、朝夕の洗滌入浴時には變へられ、其衣裘は補はれず、殊に白粉の乗付自在に生れ得ること、ミツワ石鹸の優ものなり。本品の特徴は即ち

- 一、原料を精選し、脂肪酸、鹼質を感じすべき虞あらず。
- 一、溫雅の芳香を有す。
- 一、適度の溶解性を具へて溶解し、而も浴室にけがることなし。

一、本邦人の皮膚毛髪の一、頗る實用的なる故に

◎赤齒ミツワ石鹸
◎ミツワ芳香石鹸

ミツワ石油
ミツワ水油
ミツワ洗面油
ミツワ化粧用品

發賣

の目的に適する優良の
一わ・せつけん

「ウレ石鹼」

「せ」せる人は、恐ら
く「う」を使用する以上は、
「わ」する優良品を用い
「せ」つて「けん」を



て、能く水にも
用ひて半塗に溶

の皮膚組織を研究
の理想的の完結さ
に常用すれば、肌
化粧する力に
影ある化粧品は施さ
秀なる特質に依る
に材料に、苟も
るものを用ひず

洗滌に最適合す
家庭經濟に叶ふ
金一個
三十拾錢
五十拾五錢
七拾錢

東京日本橋區橘町四丁
丸見屋商店



藥類、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問
登録商標
電話受取〇三二一掛切口座東京七二二
電報掛切口座東京七二二
支店：大阪府大阪市花三〇四八、西門外九四

結核專門
古賀病院
九州總島田代町三丁目
故愚妻金子
儀葬送之際
御多用中
御會葬被下
有哀感射英

荆妻タマ儀
 病氣ノ處養生
 不相叶本日午
 後七時死去候
 間此段尋知諸
 彦ニ謹告候也
 追出来ノ前日通
 郡別三ノ目陽國寺ニ
 加可三ノ目陽國寺ニ
 向テ告別式致仕
 密テ烏花寮ノ御
 寄贈ハ堅ク御葬進
 上候
 大正八年十二月廿七日
 高木 忠
 高木七太郎

段々略儀以紙
 上御禮申上候
 大正八年十二月廿八日
 父寶田昌信
 父寶田勘平
 父石原源三郎

鮮語自在

錢十六金價定
（錢氏料送）
スーロク製上
錢十八金價定
（錢四料送）

元賣發
社報日城京
部理代
番〇三〇時每皆留

大垣丈夫
石原磯次郎
大村百藏
矢吹賢太郎
中村揮

— 効 果 —

□ 鉛分を少しも含まず安心して用へる

□ 白さが異ひ麗然に色の麗る事もない

□ 皮膚の露癩癬癰疽が含ませてある

□ ノリノビがよく化粧タツレがしなない

□ 被覆力が強く洗つた後までも白い

□ ムラになつて見苦しくなる事がない

□ 薬物の滲を汚さぬ獨得の發明がある

御婦人のある御家庭へは是非ホーカー白粉をお用ひになることをお奨め致します。高尙で體裁がよいので東京や大阪の上流の御家庭では殆んどこれに定めておゐてになります。どうぞ是非一年中の最後の月をホーカーの薫りの中でお送り下さい。

全國到る所——の化粧品店、雜貨店、小間物店、藥店等に販賣す、萬一品物の節は振賣又は三錢切手代用、抄本舖へ御注文のれ

| | |
|------|-----|
| 定似一瓶 | 廿五錢 |
| 養料内地 | 六錢 |
| 潤餅 | 四十錢 |

本一カ一白粉
本一カ一液
本一カ一美液
本一カ一バツト

東京神田和泉柳區

堀越嘉太郎商店

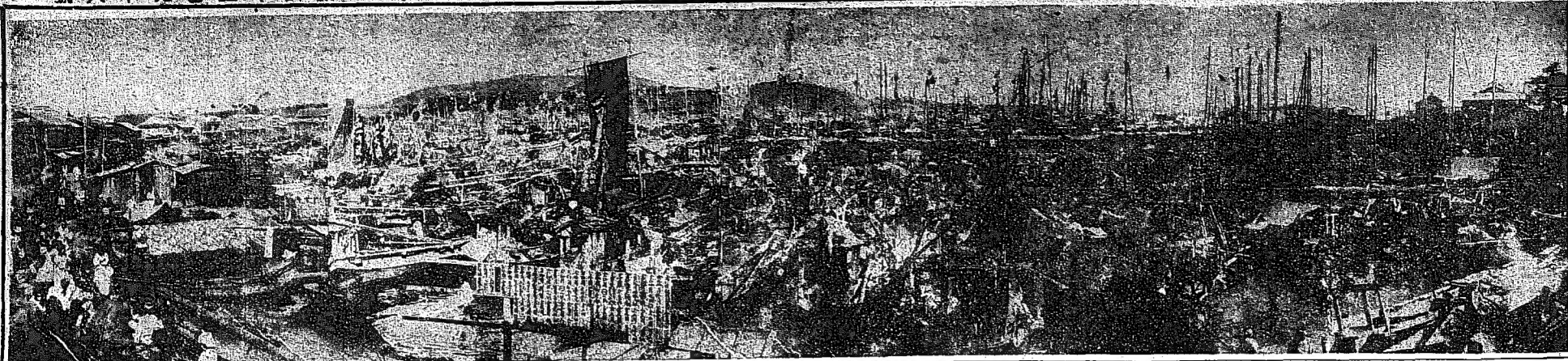
電話神田一四三・一四四・一四五
振替口座東京一五六

赤
一
力
一
白
粉

より白
玉たまのやうなお肌はだになる！

煉純
無
製鉛

御歳暮の
贈答品
として――



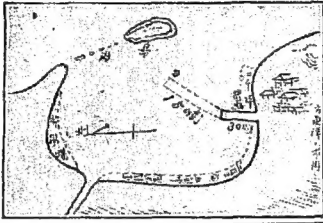
大漁場方魚津に就下

釜山税關派出員の談

[illegible]

鮮魚網組合組織

漁業家の一致團結

[illegible]

方魚津築港防波堤

第一回工費三十九萬圓

[illegible]

中部氏の

力責

日暮
捕鯊
其船中流し明、漁師等にして其
に遊に
敷盛漁期に至れば二、三百
隻の船が、附随する魚網艇約二千隻
計六、七隻、附隨艇約二千隻
の母船廿五隻は常盤港を
根拠とし翌及び各島の諸の如く
出漁し漁場も漁敵の詰る所へ
各自控照し、船の第五、第六所備
船の所屬網艇の保護及び漁獲物
の運搬處等の

大正七年七月十八日
水産部
活動振は言語
に達せざるの感嘆を痛ひ、然
り而して之等漁業者は毎日海上
に於て猛烈なる奮闘力を
於津海の港に停泊し、母船と離れ
れて餌を無上の樂みこそす。

附近に於ける漁期は、陽春三月へ
二月頃の初潮より秋分季々休
みて秋より十月に亘る。此の
に遡する水揚げは大正五年に九
十四萬圓、大正六年百十七萬
三千圓、大正七年は二百十八
萬三千圓にして本年は少し不
なりしを漁師増加之爲め、般々
り賑時は差のみの相違から
べし、此漁獲物は主として沖合
より捕獲せる魚類を發賣船艇に
に積入れ水を以て氷藏し、船艇
に於て新鮮な魚の鹽下、兩及び
大阪其他東京市販に運致し、
消費の多ければ是れよりなる所
が故に水の消費額は可驚にし、
年約二百萬圓を突越す之れに
よて如何に。

漁業の盛況は
窺はるべきものなり、獨り魚事を
して經濟上、數に於ては
皆地廻更取吸出しに據る、電燈船
數は發售にありて大正七年度
二萬八千六百七十四通、去年は
一萬九千四百五十通にして本年は
四月より十一月末現在に於て正
率より押して約一割五分の増加
を示し、郵便船にありては、昔に
從業者に限るものなり、本年は不
調の關係に多少減少したるも、舊に
二割許に過ぎず、其他資本主側の
株式は振用十二萬圓餘、金貨
四十九萬六千圓に達し、新資金
の受入二十萬五千圓、

中部幾次郎氏
期成同盟會
氏は朝鮮水産界の功績著し
き、文藝公衆事業の實政者
として世人若しく賞讃する
り、氏は魚類運輸船をして敏速
かつ廉價なる方法を究覽せん
苦、儲蓄の方ならんといふ邊
氏の功益しからず、明治三十八
石炭補助船を運搬船に据付
海濱に乗り出し、輸入品に魚
蝦、好たの荷來内、鮮共に魚
の進歩遂に伴ない漸次發展
現在に於てはその數

一萬隻に達せしは實
氏の恩恵云はざるべからず、
氏の博識せる政治家は、各島
の現には含めては株式組織の
あることも中部個人的事業
として、本邦を下關に濱内地、
朝鮮各地に出張する支店
は、朝鮮に常設に一號支店
設立に達せるも就後に怠る
な青年を養つての精力家なり
國庫の公共事業に盡瘁す
、繁榮富庶の如きは朝鮮の
に七十九箇に達す、近く
の美事とするは一萬二千圓の
費用で、万魚對小學校が舍の
附を申出して其師の快諾を得
大いに誇りて曰く、「私が本邦
氏は語つて曰く、「私が本邦
費さして一萬千圓を寄附
るに待てば決して疑念成りぬ
當地に於ては、國王さまに
たる、敬愛なる尊へを以て對
かにもあらむ。私も相當な
年に達したるを以て一代の
公典の事業として盡したい
も懸けし、皇族に蒙るす今
の如きは永き格の好機まし
甘んじ玉附しとのである
て、貴に能なる赤誠を全面
表し、儲蓄方が津浦運輸船に
せば、儲蓄と共に其目的を
すんば已まされ、常人に請
なり、臺灣銀行の唱題
に臨み、同地地の二千三
は氏の先づ行ふべき善策
を財政同盟會に其權利を譲り

蔵にして永く官途に在るに非ざれば一生の置土産として飽て此事業を熱心で力せしめしむ

念より出でしもの、如く心を

自、己を待たずして職に申渡され、
氏を助け、本事業の発展を期す
べく、歳日目に及ぶ氏は常に諸
君は之の業を爲すに躍々として
百歩は驚きの程であるが、一念
心懸け、以て其事業に傾注するゝ
るは必ずしも何事かならずんば
つて、夫を以て氏の人格を
顕明する所なる

氏の職務は、事務監督局長、
課長の職よりしが明治四十
五年間政府より招聘せられ財
政顧問府財政監督局税務局長と
して江蘇省蘇州府に職を奉じ四
十一年蘇州府公州に赴き、蘇
州府の各職監督主任として
任ぜられたり、更に日露戰役後
に於て其勤功によりて職を擡
げ、さるゝ氏の資性實績にして
能く職に精通するを以て如何な
る計畫に於ても過る事なく又一
旦此時よりには是れ最もその業
務に熟練し終極一貫成功を見る
事は止まざるの大決心を有す
海客たる處なりと。

蔚山郡守 申泰建氏

蔚山縣蔚山郡に屬し、前
任職望あり、實に事業の計を
畫せしめて今日既に工務局長
手に至りしめたるは、氏の熱誠
篤な情懷にして其功勞大に
多し。氏は本年四月二十一日
前任職望あり、實に事業の計を
畫せしめて今日既に工務局長
手に至りしめたるは、氏の熱誠
篤な情懷にして其功勞大に
多し。氏は本年四月二十一日

たたるは實に氏の賜ものにして
此後同組合に對し表裏共に之

其の熱誠なる事郡民等しく信

政能く圓滑に進行す。部の施
業に關しては、直接間接に援助
し、現に方魚津、葉港問題の如きは

山に轉じ現に其の體にあり奇
剛直にして圓滑主義なり堅や

務む而して大正三年之永く在
て敏腕の譽高く後映川、橋
署長に榮轉し昨年十一月

氏は岡山縣警務署警部より明治三十三年釜山署に轉じ司法主任

築港に功勞ある
岡山警務局長
加藤秋一郎氏

平野宗二郎氏

祖父江新三氏
小谷勝吉氏

釜山長手通り



1000

易は勿論薩摩より北支那即伯利安江新三、小倉勝幸両氏にし
て、萬の物資を、私販せしむる、共に、生業を阻害するの點を削
ぐの位、此處迄、向ひつゝ、ある、機り亦一旦飽満、遇すれば至
大に實爲害、感服、感服、を、感服なる云ふ、人をして、利し
て立現せしむるの、大責任あるは敢て益する事、否、仲介者
ありて、感服せし、斯の如く、此、の公認、武大なる指圖を取る
の標、直前に、掌に、か、活潑、奮、出、て、機軸とし、信厚せらるる故
に、せんが、爲め、必、仲介者の、必、如何なる、諷刺、諷刺、を、
如何に、在、た、機軸を、委ねる、

—

朝鮮代理店
あづまや商店


 金山府本町
 合資會社
 淡盛商會

西條鐵工所

福田酒醬油釀造所
電話長三五五
本町二丁目

著荷
一 小野田セメント
一 便利瓦
新嘉坡木村株式會社中盤代理店
大田本町長電話六三三
振替京城一九五

鮮工場製品は品質本位とし、
 鮮原料も低價造せしものにて
 價格最も低廉なり
 骨粉、果樹、煙草、桑、稻麥
 其他利用各種
 右製品は低廉にて御用命に應
 牛骨、蹄角、牛脂は余價に買入
 可申候。一報次第店員參上御
 談可仕候
 製造 朝鮮大製粉町 丁酉

入浴の好期来る
大井驛より二里餘
自轡車にて約十分
儒城溫泉
各種硝子
小野玻璃器製造所

岡山醫學士 井水柳軒
神經痛、ロイマチス
運動器疾患、皮膚
花柳病科
仁川本町四丁目 淺井病院隣
佐藤内科醫院
電話四貳一

仁本町三丁目北島藥店前

東京前田
醫學士飯塚喜四郎
電話三五〇〇

宅診 午前八時 花柳病は
往診 午後二時 に夜間診
(午後一時以後)
上川仲町一丁目仁川俱樂部裏

電 電話七一九番
內科 小兒科
外科 婦人科
仁川 松本病院
電 電話
三 三
四 四
五 五
淋病 皮膚病
梅毒 生殖器
病

仁川仲町

祝支局新築落成

釜山

迫間山

間本

迫間房太郎

店

米雜穀、肥料、海產物
石炭、黑鉛、棉糸、布、燐寸
大日本人造肥料株式會社 朝鮮一手販賣
小野田セメント株式會社 朝鮮一手販賣
小宮礦業所 黑鉛內外一手販賣
東京海上火災保險株式會社 代理店
三井物產株式會社

釜山出張員

朝鮮釜山琴平町壹番戶
長電話 六五五番
四三番

[illegible]

倉庫業、金融業、
物產賣買取次委託業、代理業、
日本火災
豐國火災
大日本生命
大東生命
上

保險株式會社代理店

釜山府大倉町

伊藤合名會社

